

○一般質問で市政を問う

令和3年11月6日の中国新聞に安芸高田市教育委員会が所管する6か所(吉田運動公園、吉田サッカー公園、吉田温水プール、美土里・八千代B&G、市歴史民俗博物館)の大型公共施設の指定管理者として、今までは公募をせずに市が100%出資している(公財)安芸高田市地域振興事業団を選定していた従来の方法を見直し、令和4年度からの指定管理者の公募を検討する。うち市歴史民俗博物館に関しては令和4年度から市の直営にすると報道された。公募に至ったいきさつ、今後の指定管理者の在り方などについて、昨年12月と今年3月の定例会で一般質問した要点をまとめたもの。



一般質問 令和4年3月4日

① 公共施設の指定管理者の公募について(一般質問 令和3年12月13日)

【芦田】先日の新聞報道で、市教育委員会が所管する5つの公共施設について、公募を検討していると報じられたが、公募の考え方と対象となった公共施設名を伺う。

【市長】公募の狙いは事業の効率を高めるため。同じところにずっと任せていたのでは効率化は望めない。改めて見直すために公募に踏み切っている。対象施設は吉田運動公園、吉田温水プール、八千代・美土里・高宮B&Gの5施設である。

【芦田】吉田サッカー公園は公募の対象となっていた。新聞報道では来年度からサンフレッチェ広島を指定管理者にする方向で調整しているとのことだが、公募から外した理由は。

【市長】サンフレッチェ広島がこの町ですとやっていきたいという強い意志を確認した。サンフレッチェ広島を核としてこの町はまだまだもりあがっていきえると考え、経費だけでなく総合的に判断し、サンフレッチェ広島を指定管理者という方向で検討をしている。

【芦田】今回の公募は吉田運動公園、温水プール、八千代・美土里・高宮B&Gの5施設が対象になっているが、公募から候補者選定までの具体的なスケジュールについて伺う。

【教育次長】公募の期間は、令和3年11月29日から12月17日までとしている。その後、事業計画書を審査し、12月下旬をめでに指定管理の候補者を選定する。

【芦田】申請書類の受付期間は11月29日から12月17日までとなっているが、土曜日と日曜日を除くと約2週間の15日で公募期間があまりに短すぎる。通常、公募の期間は2か月間は必要だと言われている。公募することのメリットを最大限生かすためには、たくさんの企業や団体が公募に応じることができるよう公募の期間をしっかりと設けるべきではないか。

【教育次長】確かに期間は短くなっているが、これまで情報等は開示しており、期間的には十分なものだと考えている。

【芦田】市が出資する第3セクターなどが管理する神楽門前湯治村などの観光施設6か所も、指定管理料の圧縮を検討するということが、具体的な取り組みについて伺う。

【市長】観光施設というものは収益が備わっているべきものである。収益を上げた結果として指定管理料を抑制したいと考えている。今年度は総務省の経営財務マネジメント強化事業を活用し各施設の経営分析をしている。そこから各施設のあるべき姿を構築していけると考えている。

【芦田】安芸高田市歴史民俗博物館を来年度から指定管理者に代えて、市の直営にする方針を決めたとのことだが、直営にする具体的な考え方と今後に向けての方針を伺う。

【市長】具体的な考え方として、各施設の設置目的に照らして費用対効果、コストパフォーマンスを点検した結果である。令和5年度には郡山城入城500年を迎えるのでしっかり活用を図りたい。今後、各施設についても同様の見直しを行う。



安芸高田市歴史民俗博物館

② 公共施設の指定管理者の公募について(一般質問 令和4年3月4日)

【芦田】 昨年12月の一般質問の続きになるが、教育委員会が所管する吉田運動公園、吉田温水プール、八千代・美土里・高宮B&Gの5施設について、昨年11月29日に指定管理者を公募した結果について伺う。

【教育長】 公募の結果は、5つの施設においてそれぞれ1団体の応募があった。昨年12月に開催された市役所内の指定管理公募者選定委員会において、応募団体の審査・評価が行われ指定管理候補者として選定された。

【芦田】 公募したにもかかわらず、応募したのは現在指定管理者となっている安芸高田市地域振興事業団といきいきクラブ高宮だけだったという結果になった。公募することによって、指定管理料の削減とサービスのさらなる充実を目指すと言われていたが、今回の結果についてどのように考えているのか伺う。

【企画振興部長】 公募を行って指定管理料がどれだけ下がるかということだが、基本的にかかる管理料は大きく下がることは無いと思っている。市の職員が施設を直接管理するより人件費の差が出るので、指定管理者制度を導入するメリットがあると考えている。

【芦田】 公募しても競争原理が働かなかったのは残念である。公募するには十分な準備をして、公募期間もしっかり取って、本来の公募のメリットを生かすべきだと思う。今後の指定管理者の公募についてはどのように考えているのか伺う。

【教育長】 経費を縮減し、効率的な施設運営を目指すにあたり、競争原理に基づく公募は有効と考えている。したがって、今回の公募に対して、様々な課題、反省を踏まえながら、今後も公募により指定管理者を決定する方針である。

【芦田】 吉田サッカー公園への交通手段の改善と、サッカー公園の人工芝の張替えが要望されている。天然芝グラウンドも近い将来、整備・改修が必要になってくると思われるが具体的な計画を伺う。

【市長】 サッカー公園へのアクセスが悪いという認識を持っている。来年度、地域公共交通計画を策定するなかで検討していく。サッカー公園の整備については、サンフレッチェ広島と協議をしている。人工芝の張替えが完了した後に天然芝に取りかかる方針である。



安芸高田市サッカー公園